

7月園だより

令和8年6月末日
認定こども園まこまないみどりまち保育園
TEL 582-1521
FAX 582-1501
HP: www.zenikukai.jp



「こども気温にご注意!!」



北海道神宮祭も終わり札幌は本格的な夏に向かっていきます。
本年は例年と比べ、6月は過ごしやすい気温だったと感じています。
しかしこれからは気温が上がる傾向との事で、注意が必要となります。
今まで涼しい傾向にあった北海道の気温ですが、体が暑さに慣れていないため、急な気温の上昇時には熱中症のリスクが高くなります。また、幼い子は大人に比べ、自律神経や発汗機能が未発達で体温調節中枢がうまく働かず、自分で効率よく熱を逃がせずに、急な発熱に繋がる場合もあります。

皆様は「こども気温」をご存知ですか？

私達が天気予報などで目にする気温は、地上約、1.5m（大人の胸元当たりの設定）で観測されたものなのだそうです。

サントリー食品インターナショナル株式会社（現・サントリービバレッジ&フード株式会社、以下サントリー）と株式会社ウェザーマップが行った共同検証実験では、大人の胸の高さ（150cm）と子どもの胸の高さ（80cm）で気温を計測したところ、地面の照り返しの影響などにより、「**子どもの身長の高さで計測した気温は大人と比較して+7℃程度になる**」ことが確認されたそうです。

それは大人が「少し暑い」と感じる気温でも、小さい子どもにとっては「体温を超える危険な暑さ」の可能性があるようです。

園では「こども気温」を踏まえ、子どもたちの変化に直ぐ気が付くよう、対応をしていきます。

気温の上昇と共に、熱を出してしまう子が増えると思いますが、水分補給及び涼しい環境にしても解熱しない場合はご連絡をしますので、お迎えをお願い致します。改善しない場合は、通院が必要になる事もありますのでよろしくお願いします。

これから、園では水遊びなどの夏の遊びが始まります。

当園では安全に水遊びが出来る様、毎年、園内で水遊び時の注意事項（監視を必ず付けるなど）及び、万が一の時の救助・職員配置について、更にAED講習をしっかりと行っております。

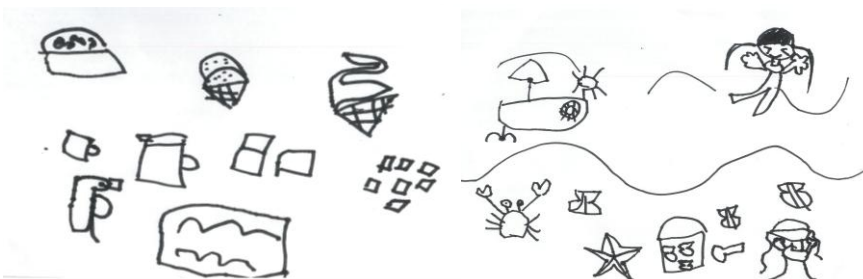
また、薬剤師に指導をしていただきながら水質管理も行っております。

子どもたちが笑顔で水遊びを楽しむ姿が、とても楽しみです。

安全と成長を兼ねた保育を日々模索し、子どもたちにとって保育園が良い環境であるように職員で話し合い、これからも向上していきたいと思っております。何かお気づきの事がありましたら、気軽にお伝え下さい。

園長

熊澤 千夏



<7月の行事予定>

- ・14日(火) 2～5歳 観劇会、0.1歳児 お楽しみ会
- ・25日(土) ももの会
- ・8日(水) 避難訓練(不審者侵入)
- ・3日(金) 17日(金) 31日(金) 布団、コットカバー洗濯日

～体育教室～

ひまわりぐみ

・10日(金)・24日(金)

ももぐみ

・3日(金)・17日(金)・31日(金)



<ももの会について>

・7月25日(土)にももぐみの行事があります。クラス活動時に楽しんでいる絵本をテーマに、簡単な調理をして、皆で食事をしたり、園舎内の探検などをする予定です。ももぐみの登園時間、持ち物などの詳しい内容は、アプリにてお便りを配信済みですので、ご確認ください。

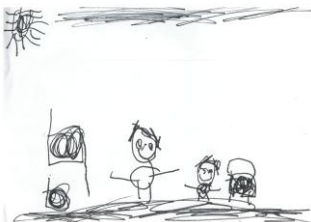
<園からのお願い>

・年間行事予定でもお知らせしていますが、お盆休みの協力日は**8月13日(木)・14日(金)・15日(土)の3日間**となっています。お仕事以外の方は、お休みのご協力をよろしくお願いします。また、夏休み期間中(7・8月中)にお休みの予定がある方は、給食の関係がありますので、7月頃から保育者が出席の確認をさせていただきます。

・今年度も写真販売を行っております。写真販売のパスワードを、保護者以外に知らせたり、SNSに載せたり、その他外部に流出させないようお願いします。情報漏れが発覚した場合、今後の写真販売ができなくなる場合があります。又、園舎内での掲示物等は個人情報ですので、家族以外の園児や個人名等の写真を撮らないでください。

・保育園内での飲食につきましては、食物アレルギー事故の防止及び衛生管理の観点よりご遠慮願います。園児同士での食品の受け渡しや、持ち込み食品による誤食を防ぐことで、全ての園児が安全に過ごせる環境を維持する為です。また、食べこぼし等による衛生面の問題防止にも繋がります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

・送迎時にホールドアの施錠がされていない状況が見受けられています。子どもの飛び出しを未然に防ぐため、ホールのドアを開閉した際には、必ず鍵の施錠をしていただきますようお願いいたします。



<6月の意見・要望・苦情>

意見・要望 1件

苦情 0件



○送迎時および体育レッスン時の駐車場利用について

駐車場満車時の送迎において、前方車両が駐車場待ちなのか、一時的に路上駐車をしているのか判別しづらい状況がありました。確認が取れないまま、後方車両が並び追い越して並び直す場面が発生しております。路上駐車は近隣の方々へのご迷惑や通行の妨げとなりますので、ご遠慮いただきますようお願いするとともに、駐車場をご利用の際は順番を守ってご利用下さい。

また、体育レッスン中に駐車場で待機し、お子様のレッスン終了を待たれている保護者がいるのご意見をいただいております。レッスン中の長時間駐車・待機は終了時間の5～10分前を目安にお迎えへお越しくださいますようお願いいたします。

～夏にかかりやすい病気～

<咽頭結膜熱（プール熱・アデノウイルス）>

保護者記入の登園届：必要○

急な発熱（38～40℃）、喉の腫れや痛みがあり、目やにや充血などの結膜炎の症状が伴う場合があります。主要症状が消失した後、2日を経過すると登園できます。

結膜炎の症状だけでも、原因がアデノウイルスの場合は登園届が必要です。

<手足口病>

保護者記入の登園届：必要無し×

手、足、口に(子どもの場合は 肘、膝、お尻にも)水疱性の発疹ができる夏風邪の一種です。無菌性髄膜炎を合併することがあり、発熱や、頭痛、下痢、嘔吐を伴う事もあります。熱がなく、食欲があれば登園可能な病気ですが、あまり状態が良くない場合は お休みしてしっかり治しましょう。

<溶連菌感染症>

保護者記入の登園届：必要無し×

発熱、咳、喉の痛みがあります。又、舌の表面にブツブツの赤み（いちご舌）も見られます。抗生剤投与開始後1～2日経過し、主要症状が消失した後登園できます。抗生剤が処方されますが、園では基本的にはお薬をお預かりし、投与することはできませんので、1日2回の処方にしてもらうようお願いします。また、1日3回の処方の場合はご家庭で時間をずらすなどしてください。

<ヘルパンギーナ>

保護者記入の登園届：必要無し×

高熱・喉の痛みなどの症状が見られます。咽頭に赤い粘膜疹がみられ、次に水疱（水ぶくれ）となり間もなく潰瘍となります。

高熱が数日続き、熱性けいれんや無菌性髄膜炎を合併することがあります。熱がなく、食欲があれば登園可能な病気ですが、あまり状態が良くない場合はお休みをしてしっかり治しましょう。

<伝染性軟属腫（水いぼ）>

保護者記入の登園届：必要無し×

直径1～3mm程度の、真ん中が少しへこんだ光沢のある白色や透明のいぼが、脇の下やわき腹、首、肘、膝などにできます。引っ掻いたり、潰れたりすると中のウイルスが飛び出して全身に広がったり、肌と肌が接触したり、タオルを共有する事によりうつってしまいます。接触感染を防ぐために絆創膏やガーゼなどで幹部を被う配慮が必要です。

※園では、感染拡大防止の為に、水いぼがある 又は、水いぼの疑いのあるお子さんは、他のお子さんと別のプールに入るようにしています。（治療後は他のお子さんと同じプールになります。）

<とびひ>

保護者記入の登園届：必要無し×

水疱や黄褐色のかさぶたができ、皮が破れてつゆがあちこちにつくことで広がります。皮疹が乾燥しているか、湿潤部位を被覆できる程度であれば登園できます。

転んだ時の傷や、ひっかき傷からとびひになることもあるので、こまめに爪を切るようお願いします。

（厚生労働省 感染症対策ガイドラインより）

* 感染症に罹患した子どもが登園する際には

- ①子どもの健康（全身）状態が保育所での集団に適應できる状態まで回復している事
- ②保育所内での感染症の集団発生や流行につながらない事を確認する

※集団生活の中で感染拡大を防ぎ、健康に過ごすためにも、皆様のご配慮とご協力をよろしくお願いします。

熱中症

子どもは体温が上がりやすく、自分で予防できないことが多いため、熱中症になりやすいです。熱中症になると、吐き気や大量発汗などの症状から、重症になると生命に関わることもあります。



環境

- 気温や湿度が高い
- 風が弱い
- 日差しが強い
- 閉め切った室内
- 車の中
- エアコンがない
- 急に暑くなった
- ベビーカー（地面からの照り返し）



からだ

- 高齢者、乳幼児、肥満
- 持病がある人
- 低栄養状態
- 脱水状態（下痢など）
- 体調不良（寝不足など）



行動

- 激しい運動
- 慣れない運動
- 長時間の屋外作業
- 水分補給が自分でできない



熱中症を疑う症状

- めまい
- 失神
- 筋肉痛
- 筋肉のこむら返り



- 頭痛
- 吐き気
- だるい



- よびかけに反応しない
- まっすぐ歩けない
- 高体温



重症

応急処置のポイント



意識状態が悪いときには、**救急車を呼んでください。**



冷たい濡れタオルで身体を拭きましょう

扇風機などで風を送り、涼しい場所に寝かせましょう

太い血管のあるところを冷やしましょう

- わきの下
- 首
- 太ももの付け根

家庭での事故（傷害）予防のポイント

こまめな水分補給（経口補水液やスポーツ飲料など）をこころがけましょう



日差しや地面からの熱から守りこまめに日陰・屋内で休憩しましょう



短時間でも車内など暑い環境に置き去りにしないようにしましょう



気温と体温に合わせて衣類を調節しましょう



子どもの異変に敏感になりましょう



屋内では適切にクーラーを使用しましょう



日頃から暑さに慣れさせておきましょう



実際にあった事例

車の車内に関じ込め Injury Alert（傷害速報） No.43 事例2

1歳の男の子 8月末の朝9時半頃、日陰の無い駐車場で乗用車内に関じ込められた。ガラスを割って救出されるまでにぐったりし体温39.9℃に上昇した。

主治医からのひとこと